

【診療科紹介】

当院の産婦人科の病床数は41床、2018年の22週以降の総分娩数777例、腹腔鏡を含む開腹手術108件、婦人科進行悪性腫瘍数17例、子宮頸部上皮内腫瘍に対する円錐切除35例です。不妊外来では体外受精・胚移植を71件施行しています。時短・産休・非常勤含めた産婦人科医10名（9名の日本産科婦人科学会認定専門医、1名の専攻医）により、一般的な産婦人科医療と救命救急医療を行っています。さらに、ハイリスク周産期医療、婦人科悪性腫瘍、高度不妊治療などの高度・特殊医療は特殊外来を中心に分担しています。

当院は総合周産期母子医療センターに指定されており、母体・胎児集中治療管理室3床、新生児集中治療管理室6床を有し、島根県の周産期の基幹病院として産婦人科医が常時在院しており、母体搬送は24時間受け入れ可能で73例の母体搬送を受け入れました。島根県ドクターヘリが運航しており、当科医師が同乗するヘリコプターによる母体搬送は2018年度10例ありました。また、地域がん拠点病院、不妊相談センターとしての役割も果たしています。

1. 周産期診療

分娩はセントラルモニターの管理下、semiLDR（4室）で行い、「安全な」「快適な」「自然な」「家族的な」分娩を心がけ、産後は母子同室により母性を育むといったバランスのとれた周産期管理を目標としています。

周産期の基幹病院であるため、ハイリスク妊婦外来で多胎妊娠、合併症妊娠、子宮内胎児発育遅延、羊水異常、胎児・胎盤異常などの管理を行い、早産防止、異常の早期発見・早期治療に努めています。

2. 婦人科診療

子宮筋腫、卵巣腫瘍、子宮内膜症、異所性妊娠の適応例では、腹腔鏡下手術を積極的に施行しています。

当院は癌拠点病院で婦人科悪性腫瘍については、早期発見・早期治療に努めており、特に子宮頸がん検診ではHPV検査併用検診を推進しています。子宮頸部円錐切除術は日帰り手術で行うこともあります。手術は子宮がん、卵巣癌の根治術が可能です。治療は患者さんの希望、年齢・体力、悪性腫瘍の病理学的悪性度・進展度に応じ、個人のQOLを第一に考えた個別治療をしています。

3. 不妊・内分泌診療

不妊症については、軽度不妊症治療から人工授精、凍結胚移植を行っています。スタッフの関係で現在は新規採卵は中止しています。

4. 女性のヘルスケア

更年期医療に対しホルモン補充療法等を行い、骨密度測定、乳癌検診も行っています。保健指導室では助産師が問診に加えて更年期の相談に応じます。

